

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		年齢や発達段階に応じて、場所を分けて支援している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		保育士資格有資格者を6人配置。また、必要に応じて、生活介護の事業所からも有資格者の協力を得ることができる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		室内は段差がなく、バリアフリーとなっている。 おもちゃなど子供たちの視界に入らないよう、集中できる環境にしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		ウイルス除去のできるオゾン発生器を3台設置している。 日頃から次亜塩素酸ナトリウムやアルコールによる消毒作業を行っている。 児童が来所前、登所後に整理整頓・掃除を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		研修等参加後、伝達研修を実施している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	トイレの改修等、ハード面の改善が難しい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所内及びホームページにて掲示している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		東海村社会福祉協議会の進行管理委員会にて委員（第三者）による評価を実施している。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員が輪番で各種研修に参加している。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		半年に1回、児童発達支援計画を更新する際に行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		半年に1回、児童発達支援計画を更新する際に行っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎日のミーティングの他、毎月、予定や活動内容について検討する打ち合わせを行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日のミーティングの他、毎月、予定や活動内容について検討する打ち合わせを行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の日誌入力その他、個別のケースについては地域生活支援システムに入力し職員間で共有している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3か月に1度の評価のほか、毎月の個別目標を設定し保護者と共有しながら発達状況を確認している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療的ケア児への支援は行っていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児への支援は行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			村内の幼稚園には、保護者の同意を得た上で情報提供書の提出及び園への訪問を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			東海村教育指導室、村内小学校、勝田特別支援学校等と連携及び共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			管理者が東海村総合支援協議会へ参加している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	母子通所の際は、保護者に対する支援も同時に実施している。また、支援システムを利用し児童の状況報告や日々の報告を行い、課題を共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	母子通所の際は、保護者に対する支援も同時に実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時や変更時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	半年に1回、児童発達支援計画を更新する際に行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	母子通所の際は、保護者に対する支援も同時に実施している。また、保護者から悩みについて話がある場合は、その都度個別面談を行い相談を受けれる環境を整えている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	父母の会はないが、保護者同士の交流のためにも母子通所を行っている。幼稚園生の保護者向けにミニ講話の後に、保護者が交流する時間を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	随時保護者からの相談を受け付けている。また、2か月に1回医師による健康相談も行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月「つくしだより」を発行。行事予定のほか、活動のポイントなどを記載している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	全利用者から個人情報利用同意書を取得している。また、写真の取り扱いについても、同意書を取得している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	保護者に対して口頭での状況で不足している場合は、多めの連絡や伝達事項が記載してあるプリントを作成、支援システムの配信などを使い、配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	いつでも見学可能だが、行事には地域住民を招待していない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	つくし教室では1か月に1回程度避難訓練を実施しているほか、年1回のセンターの避難訓練と、年2回の「絆」の避難訓練にも参加している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	契約時に確認しているほか、日頃から受診状況を確認し、服薬状況が変更された場合はその都度確認している。また、てんかんの既往がある児童については、事前に看護師も交えて保護者と打ち合わせを行い、体調の変化に気を付けながら対応している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーについては、契約時に確認している。母子通所の場合は、おやつなど食品を提供する場合はその都度保護者に確認している。幼稚園生等、母子分離支援の場合、おやつは持参してもらっている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ほとんど事例がないため、事例集は作成していない。もしあった場合には、事業日誌や個別記録に記載し、職員間で共有している。

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、研修も実施している。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/	/	身体拘束は行っていない。